

都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト

2018年3月27日

本日の講演者、リネットジャパングループ(株)について

- 2000年にトヨタ自動車、ブックオフのサポートを得て創業、2016/12 東証マザーズに上場
- 日本最大級のネット中古書店 **NETOFF** を運営
- 100%子会社のリネットジャパン(株)にて小型家電リサイクル法の認定を取得し参入
- メダルPJの提案者であり、現在は日本環境衛生センターと協働し事務局として広報等を担当

社名 リネットジャパングループ(株)

(東証マザーズ上場 証券コード3556)

創業 2000年7月27日

本社 愛知県名古屋市

資本金 580百万円

主な株主 黒田 武志

豊田通商(株)

トヨタ自動車(株) 等

従業員 344名(パート・アルバイト含む)

100% リネットジャパン(株)

子会社 <小型家電リサイクル法 認定事業者>



代表 黒田 武志 略歴

1965年11月5日生(52歳)

1989年04月トヨタ自動車(株)入社

1998年07月 " 退社

1998年05月 ブックオフFC加盟店
(株)ブックオフウェーブ 設立
代表取締役 就任

2000年07月 黒田・ブックオフ・トヨタ自動車の出資により
(株)イーブックオフ 設立
代表取締役 就任

2005年10月 ネットオフ(株)に社名変更

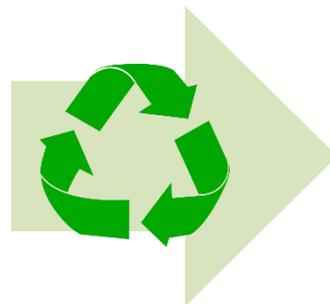
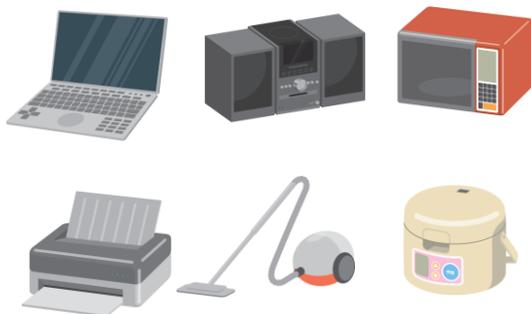
2014年10月 リネットジャパングループ(株)に社名変更

2016年12月 東証マザーズ上場

東京2020大会のメダルを、 小型家電リサイクルを通じて作るPJがスタート

- ◆ オリンピック史上初の試み
- ◆ リサイクルを通じて東京2020大会へ参画
- ◆ 「都市鉱山リサイクル」をレガシーへ

ご家庭で
不用になった
小型家電



メダルに
生まれ
変わります。



メダルPJ 決定までの経緯について

公募開始前 東北3市(大館、八戸、一関)が「都市鉱山でメダルを！」という趣旨で
オリンピック組織委員会へ提言

東北3市とも連携をとり、リネットジャパンと大府市が発起人となり、
メダル運動における自治体連携組織「都市鉱山メダル連携促進委
員会」を発足。 ※発起人代表:愛知県大府市 岡村市長
(次頁 報道記事ご参照)

2016/11 「みんなのメダルプロジェクト」公募開始
上記委員会を母体に、リネットジャパン、および弊社地元の大府市の
呼びかけで、126自治体が賛同を表明
リネットジャパン・スズクホールディングス・リーテムの3社で共同提案す
ることが決定

2016/12 企画提案を提出

2017/1～2 プレゼン審査 & 採択
日本環境衛生センターを運営の主体者とすることを提案し、
NTTドコモ社と一緒に事業協力者として採択される。

メダルPJについて

メダルは約5,000個、約8トンの金属が必要
→ 資源を多く含むパソコン・携帯電話の回収が重要

メダル個数と必要な金属量

メダル制作に最低限必要な原材料（オリンピック・パラリンピック合算）

メダルの種類	製造個数	金	銀	銅
金メダル	1,666	10kg	616kg	40kg
銀メダル	1,666	-	616kg	50kg
銅メダル	1,666	-	-	646kg
金属合計重量 (kg)	-	10kg	1,233kg	736kg
(参考) 歩留まりを考慮 した必要量	-	約40kg	約4,900kg	約3,000kg

※ メダルはオリンピック・パラリンピック合計5,000個分を想定。
※ メダルの重さ・組成はロンドン大会のメダル(1個400g)のもの。(リオ大会のメダルは1個500g)
※ 製造時の歩留まりは4倍程度を想定。

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会第16回理事会（H28.11.9）資料抜粋

小型家電リサイクル法認定事業者による金・銀・銅の再資源化実績（平成27年度）

	金	銀	銅
金属量合計	約214kg	約2,563kg	約1,469,000kg

必要な回収量(当社試算)



170万台



2,000万台

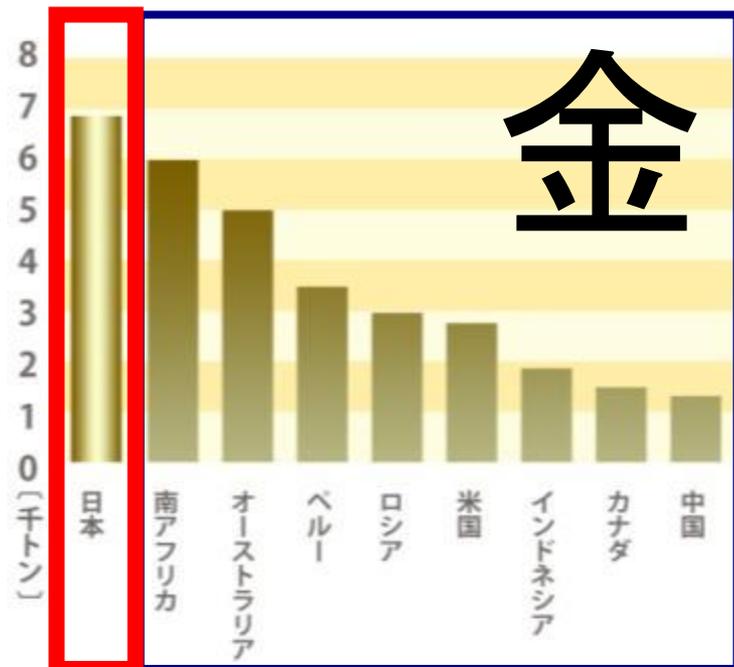
(参考)都市鉱山の埋蔵量

地上に眠る製品等に含まれる資源は“都市鉱山”

日本には、世界有数の資源大国並みに埋蔵

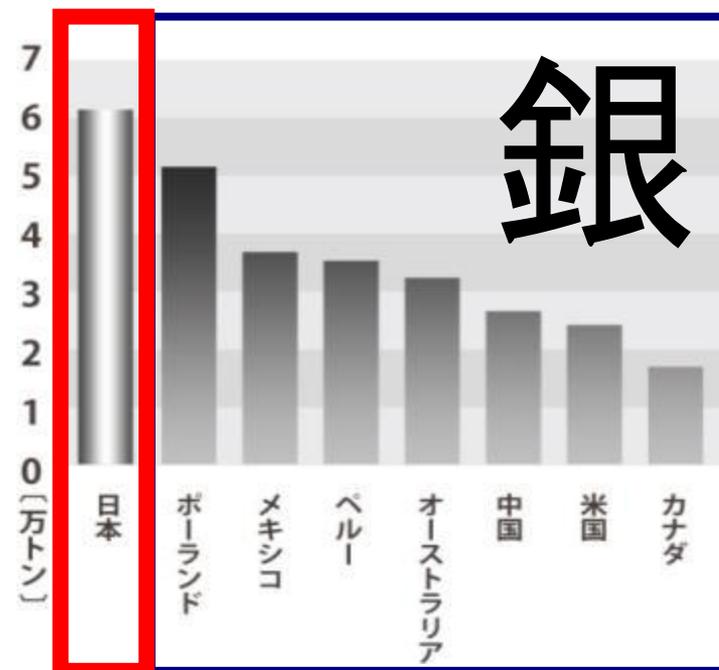
都市鉱山と天然鉱山の埋蔵量の比較

出典: 物資・材料研究機構



都市鉱山

天然鉱山



都市鉱山

天然鉱山

自治体の参加状況

自治体・参加認定事業者が回収を実施

1,300以上の自治体が、メダルPJへ参加

自治体の参加状況

2018年3月9日現在

地域区分	都道府県	市町村数	参加数	参加率
北海道	北海道	179	102	57.0%
東北	青森, 岩手, 宮城, 秋田, 山形, 福島	227	162	71.4%
南関東	埼玉, 千葉, 東京, 神奈川	212	187	88.2%
北関東・甲信	茨城, 栃木, 群馬, 山梨, 長野	208	157	75.5%
北陸	新潟, 富山, 石川, 福井	81	69	85.2%
東海	岐阜, 静岡, 愛知, 三重	160	142	88.8%
近畿	滋賀, 京都, 大阪, 兵庫, 奈良, 和歌山	198	158	79.8%
中国	鳥取, 島根, 岡山, 広島, 山口	107	81	75.7%
四国	徳島, 香川, 愛媛, 高知	95	88	92.6%
九州	福岡, 佐賀, 長崎, 熊本, 大分, 宮崎, 鹿児島, 沖縄	274	203	74.1%
総計		1,741	1,349	77.5%

※地域区分は統計局のルールに基づき作成

主な回収方法

携帯電話は、専用回収ボックス等 パソコンは、宅配便回収(無料)等

※他の小型家電も自治体・PJ参加認定事業者によっては回収しています。

お住いの自治体へ



PJロゴの入った回収ボックス



イベント回収

参加認定事業者へ



リネットジャパン社の宅配便回収など

※全国のdocomoショップでも、本プロジェクト用の携帯電話の回収を行っています。

PJ専用WEBサイト

<http://www.toshi-kouzan.jp/>

回収を促進する普及イベント

自治体と一緒に、リサイクル回収を促進するイベントを開催

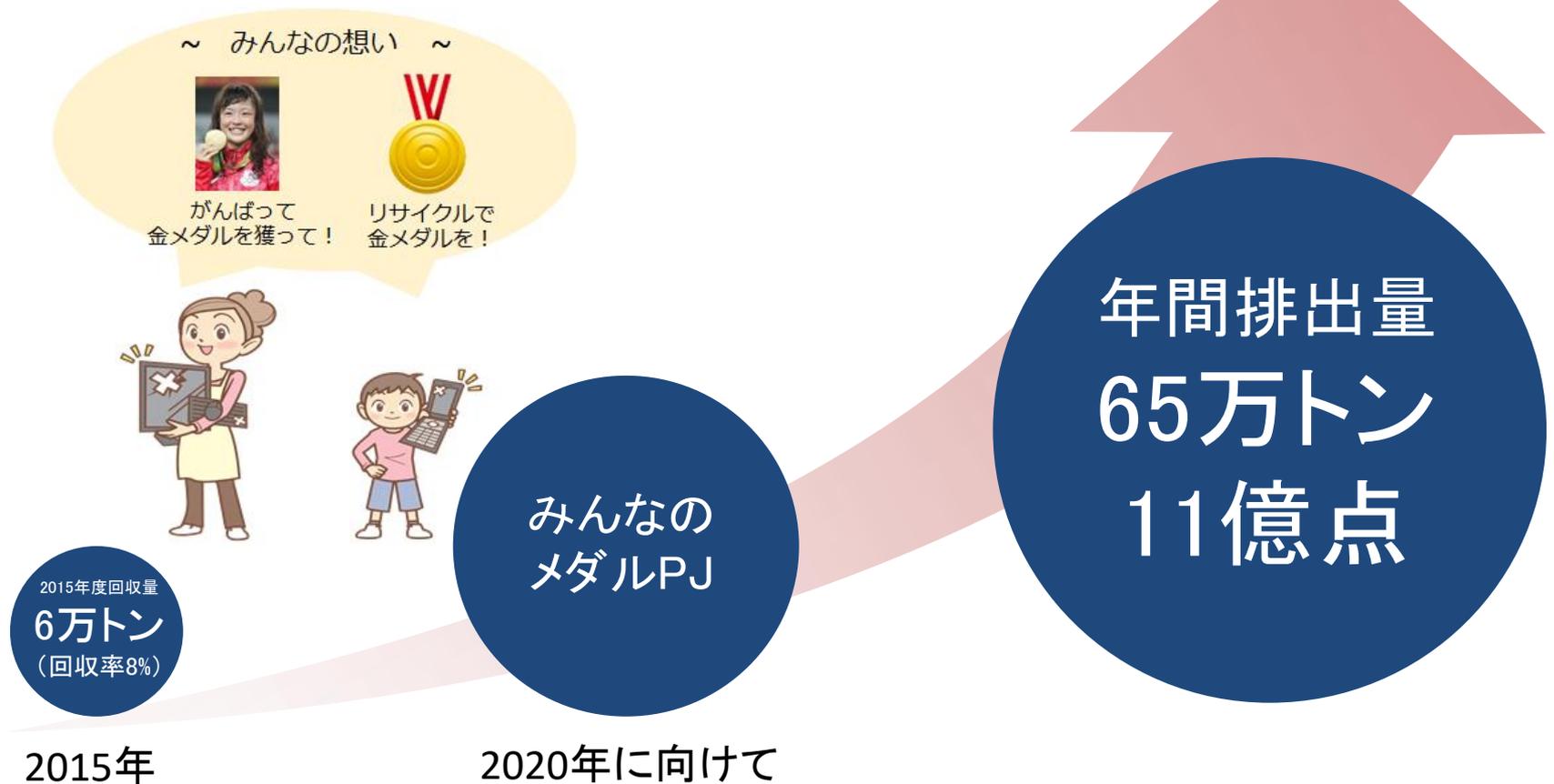
～ 2017年11月 東京都庁で実施した普及啓発のイベント～

「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」 パワーアップイベント ～年末、宝探しを東京から～



メダルPJを通じたレガシー

メダルプロジェクトは、小型家電リサイクル制度の **認知(リサイクルの意義)を高める絶好の機会**





「便利」で「あんしん」

リネットジャパンの

宅配便回収



小型家電
大臣認定 第0024号

全国
対応

※離島除く

自宅
回収

年中
無休

最短
翌日

PC
データ
消去

URL <http://www.renet.jp/>

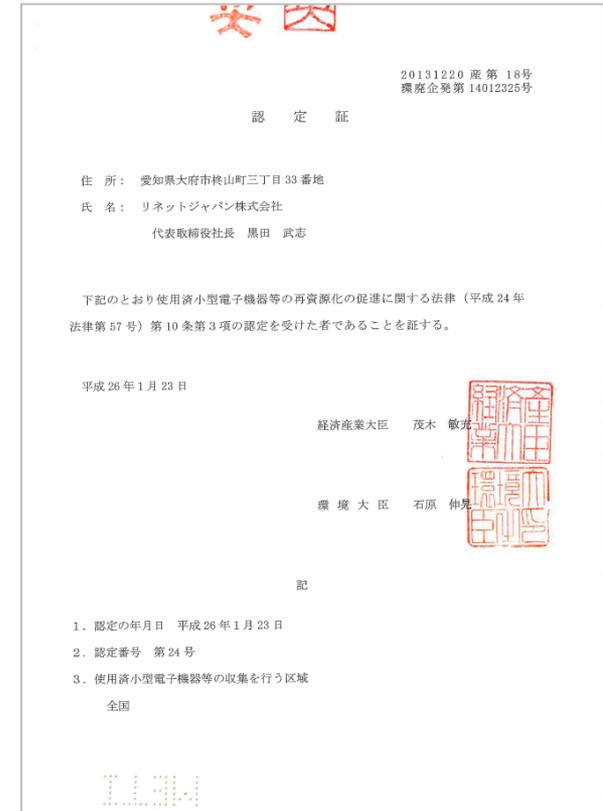
2014年1月 小型家電リサイクル法の認定を取得

- ✓ **宅配便回収**では国内唯一の許認可を取得
- ✓ **全国エリア**を対象とした認定は全国初
- ✓ **BtoC型サービスを専門**に提供する事業者



小型家電

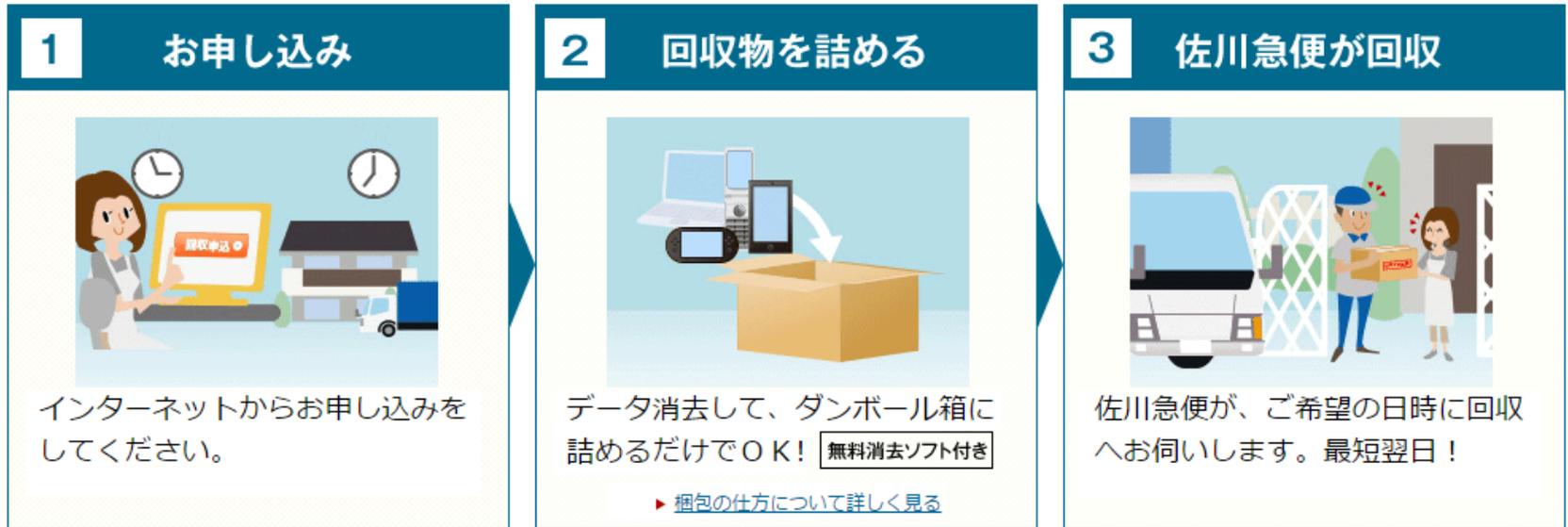
大臣認定 第0024号



※宅配便回収以外に、店頭回収・イベント回収等の認定も取得しています。

自宅(玄関先)から希望日時に佐川急便が回収 自治体の“ごみ回収”より便利

(ご参考) 自治体の粗大ごみ・不燃ごみの収集日は月に1～2回、申込みも1週間前まで・・・等



お支払い方法

クレジットカード・銀行ネット決済の方… お申し込み時にお支払いください。
現金の方… 回収時に佐川急便ドライバーにお支払い下さい。

回収から処理完了まで、トレーサビリティを提供しています。
工場到着・処理完了を「メール」「マイページ」でお知らせしています。

箱に入れば、何点入れても1箱1,500円(税抜)



※箱のサイズの上限：3辺合計140cm、20kg以内

回収料金に含まれるもの

① 送料 (1,500円相当)

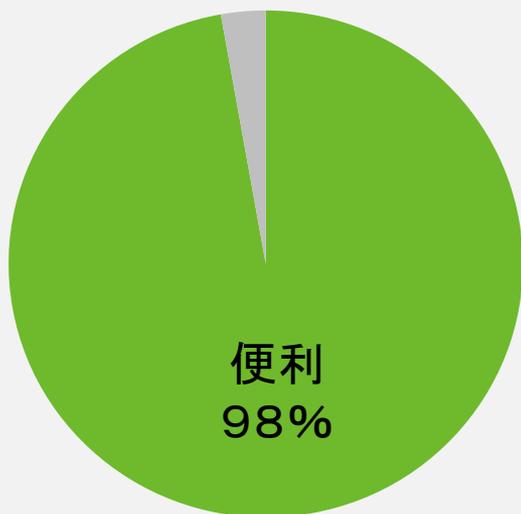
② リサイクル料

さらに

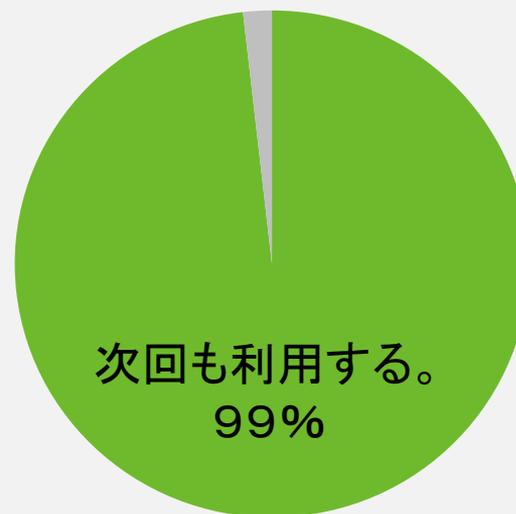
PCのデータ消去
ソフトが無料で使える

お客様満足度が高い回収方法です。

Q1. 市町村の
ごみ回収と比べて



Q2. 次回も宅配便回収を
利用するか？



行政回収の一環として自治体と連携しています。



2014/6/12
愛知県大府市 久野市長



2014/6/25
愛知県小牧市 山下市長



2014/9/24
京都市 足立局長



2015/2/2
さいたま市 清水市長



2015/3/26
浜松市 鈴木市長



2015/5/13
川崎市 福田市長



2015/6/30
京都府長岡京市 中小路市長



2015/7/21
福岡市 高島市長



2015/9/29
東京都稲城市 高橋市長



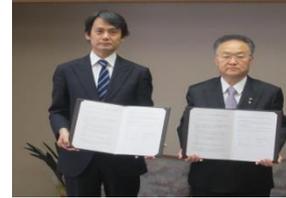
2015/9/30
新潟市 篠田市長



2015/12/17
埼玉県本庄市 吉田市長



2016/1/27
相模原市 加山市長



2016/2/23
埼玉県川口市 奥ノ木市長



2016/2/24
仙台市 伊藤副市長



2016/2/24
宮城県涌谷町 大橋町長

143自治体(人口3,532万人)と連携中

●政令市



●東日本



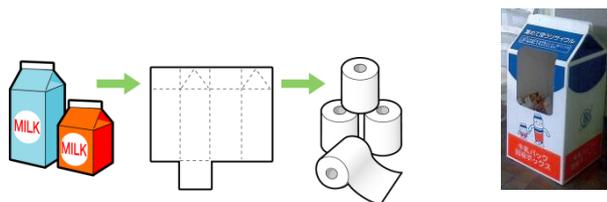
●西日本



メダルを作ることが目的ではなく、メダル運動を機に、 小型家電リサイクルを世界に誇れるリサイクル制度に

(例) 消費者が自発的に参加する
日本のリサイクル運動

●牛乳パック・リサイクル運動



●エコキャップ運動



日本が誇る、国民が自発的に参加する
リサイクル制度へ

2020年以降もレガシーとして、「小型家電を捨てたらもったいない」を合言葉に、小型家電リサイクル制度が定着することを目指します。



このマークは、国が定めた
小型家電リサイクル法認定
の適正回収方法に使用さ
れています。



最後に・・・

「都市鉱山リサイクル」を、

日本の代表的な「もったいない運動」へ

そして、**世界の「もったいない運動」**へ

